



J

研究・技術シリーズ

J01 (一社)日本応用地質学会 九州支部

災害現場から読み解く災害のメカニズム

近年の日本各地では、熊本や北海道胆振東部での地震、九州や西日本での豪雨、台風などの自然災害が毎年のように発生し、多くの人的・物的被害が生じています。このような自然現象から発生する災害の規模は、地形地質の特徴によるものが大きく、まず第一に着目する必要があります。当学会では、これからの防災・減災対策につながる一助として、応用地質学的観点から実施している災害時の調査活動事例などを紹介いたします。



平成28年熊本地震で現れた地表地震断層

住所 〒812-0894
福岡市博多区諸岡5-25-25
担当部署：日本地研株式会社 技術部内 九州支部事務局
TEL 092-571-2766 E-mail kyushu-jseg@chiken.co.jp

J02 熊本高等専門学校 八代キャンパス

熊本に根差した地域の防災・減災への取り組み紹介

熊本高等専門学校では、広く一般的な防災・減災を目的とした研究に加え、地域に根差した防災・減災への取り組みに注力しています。熊本地震や令和2年7月豪雨では、いち早く現場に駆けつけ、被害状況を調査し、今後の災害に強い地域形成を目的とした取り組みを行っています。本出展では、このような取り組み事例を紹介しています。



令和2年7月豪雨の災害調査

住所 〒866-8501
熊本県八代市平山新町2627
担当部署：建築社会デザイン工学科
TEL 0965-53-1334 E-mail k-wakinaka@kumamoto-nct.ac.jp